

2010年度

| | | | | | |
|---|---|----|-------|-------|---|
| 科目名 | 保育内容(造形表現) | | | | |
| 担当教員 | 坂口 希巳子 | | | | |
| 配当 | 教福2(5212) | | コード | 42260 | |
| 開期 | 前期 | 講時 | 木曜日2限 | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 造形表現に関する知識技能と指導法を修得する。 | | | | |
| 目的と概要 | 日々の保育活動においては、幼児一人一人の豊かな感性を育て、感じたことや考えたことを素直に表現する能力を高めることが求められている。本授業では、表現領域のうちの「造形表現」についてその意義や指導の在り方の修得を図る。 | | | | |
| 成績評価法 | 出席状況・課題レポート・作品製作・保育指導案の作成で50%、期末テスト50%により評価する。 | | | | |
| テキスト | 「新造形表現」理論・実践編／花篤實・岡田けいご著／三晃書房 | | | | |
| 参考書 | 適時、紹介する。 担当教員から学習資料を提供する。 | | | | |
| 履修に 当たっての 注意・助言 | | | | | |
| 講義計画 | | | | | |
| 第1回 造形表現力の発達(1)―造形表現に見られる成長過程 第2回 造形表現力の発達(2)―幼児の特徴的な造形表現様式 第3回 幼稚園教育要領と「表現」領域―表現遊びのねらいと内容 第4回 幼児の「遊び」と造形表現 第5回 「造形表現」指導(1)―「造形表現」指導の原理と今日的課題 第6回 「造形表現」指導(2)―造形表現の取り組みと保育者の役割、援助の在り方 第7回 「造形表現」指導(3)―造形表現を促す材料用具の内容と活用の工夫 第8回 「造形表現」内容の研究と実技(1)―操作を楽しむ表現遊び 第9回 「造形表現」内容の研究と実技(2)―材料から思いついてする表現遊び 第10回 「造形表現」内容の研究と実技(3)―目的的な表現遊び 第11回 保育指導案の作成(1)―保育指導案の骨子づくり・導入の工夫 第12回 保育指導案の作成(2)―指導案の各項目の意味と書き方 第13回 保育指導案の作成(3)―保育指導案の作成 第14回 幼児の美術教育思潮(造形教育の流れ) 第15回 「まとめ」 | | | | | |
| <備考> 保育内容(造形表現)で作成した自作資料は、教育実習時の教材研究や教員採用試験準備に有効な資料となる。 | | | | | |